

No.19

1996年

(平成8年)

同窓会だより

— 発行 —

旭川厚生専門学院
同窓会

岡山市祇園地先

TEL (086) 275-0145

FAX (086) 275-3283

— 編集責任者 —

同窓会会長 堀内 絹江

三本の苗

— 医療福祉教育 —

同窓会長

堀内 絹江

昭和三十三年四月に旭川が創設され、平成九年で四十周年を迎えます。その四十年間の歴史をひもとくと、「障害児にユートピアを」と考えられた川崎祐宣先生を語らずして現在はありません。また川崎先生の「医療福祉」構想実践を担われた江草安彦先生と堀川龍一先生をはじめ多くの方々の功績のうえ、現在三十六施設にまで発展しました。

その中の一施設である母校旭川厚生専門学院は、昭和四十六年四月開校され「真に福祉の心をもった施設職員」を養成目的に保育科、看護科から始まり、時代のニーズに応えていまや介護福祉科、福祉情報科、福祉研究科が設置されるまでに大きくなりました。医療と福祉の統合サービス、そして実践のための教育がまさに歩いているのを目の当たりにします。

「哲学を論じるより哲学を実践する」と言われ、「人間尊重の福祉の村」として川崎先生の旭川荘への思いのうえに私達同窓生もいるのではないのでしょうか。川崎先生のスケールには及びませんが、医療、福祉、教育という三本の苗の幹を太らせ、枝葉を磨き広げていくのが私たちではないでしょうか。

同窓生の皆さん！是非お声を聞かせて下さい。



第4回 旭川厚生専門学院 同窓会 岡山支部会

江草安彦理事長

「三木記念賞」受賞

平成七年八月十九日、名誉学院長江草安彦先生は、第二十八回岡山県三木記念賞(社会部門)を受賞されました。昭和三十年から四十年間にわたり、医療福祉の理論と実践に努力を傾けてこられた業績が評価されたものです。この名譽は当然なこととはいえ厚生専門学院にとっても、同窓生にとっても大変光栄な事で喜ばしい限りです。



川崎祐宣名誉理事長

ご逝去

平成八年六月二日、川崎祐宣先生がご逝去されました。先生は、岡山県の医療、福祉、医学教育の発展、充実に尽くされた功績から、昭和六十年には岡山県名誉市民、六十一年に倉敷市名誉市民の称号を贈られるなど業績は高く評価されています。昭和三十三年、全国に先駆け心身障害児(者)のための総合社会福祉施設「旭川荘」を開設。県民とともに歩む福祉の園は全国から注目を受け、わが国でもトップクラスの施設に成長しました。

先生のご冥福をお祈りいたします。

母校からの便り

学院長 竹本 博明



同窓生の皆さん、こんにちは。皆さんそれぞれの道で、お元気に活躍のことと拝察いたします。私は、今年の四月から末光茂前学院長の後を引き継いで、皆さんの母校で後輩たちと一緒に生活を始めました。久々に若やいたにぎやかな声に包まれて、何か自分まで若返った気分になったりしています。その一方で、プロの職業人を養成する施設（学院）については何も分かってない新米の不安を抱えての毎日ですが、大勢の先生方に支えられながら何とか……というところですが。

学院は三月には福祉研究科の最初の卒業生も加えて三百四十名を社会に送りだしましたが、就職戦線超水戸黄門と言われる時期にもかかわらず、それぞれの専門分野を生かした就職・転職に、四月当初で百%近い就職率を示しました。このことは同窓の先輩の方々が平素から各職場の中心となつて活躍されていることに負うところが大きいことと、大いに感謝も致し、また敬意を表するところです。四月には、三百六十名の新生を迎え、八百人に近い大所帯で新年度のスタートを切りました。恒例になっている金山での泊オリエンテーション、上級生は先輩譲りのリーダーシップで新生の指導に大きな力を発揮しました。一緒に登山しながら、ヒトを相手にする専門職の道を選んだ者の感性・気配り等さすがと関心もし、教えられるもしました。また、

先輩たちが残して下さった遺産の素晴らしさも感じ、これらを栄養に、もっと大きく育てていく責任に思いをはせました。

これまで多くの優れた先輩たちを送りだしてきた学院の建物も、年の経過とともに施設設備の傷みが目につくようになり、昨年の本館の空調設備を中心とした改修に引き続き、本年は図書棟・リズム棟の冷暖房設備に取りかかっています。今夏の後半からは快適な環境で学習が出来るようになると思います。

学院を取り巻く外的要因は、高齢化・少子化の進展に伴う保健福祉の変革期にあつて、医療福祉関係の専門職員の養成のあり方などハード・ソフト両面で種々のうねりが押し寄せてきている昨今です。学院も新しいうねりに柔軟に対応しながら、21世紀に羽ばたく優れた専門職員を育てるよう、教育活動を展開していく準備・始動を始めています。

同窓の皆さん、母校の今後に、後輩たちに応援のエールを送ってくださいますようお願いいたします。おわりに、皆さんの今後ますますのご健勝と御活躍をお祈りし、母校からの報告とご挨拶にします。

人事異動について

▼退任の先生 (三月三十一日付)
学院長 末光 茂先生
(常務理事、児童院長へ)
教務・学生課長 森 団先生
介護福祉科教務主任

三原 博光先生
福永 美彦先生
土倉 久代先生
滝沢 泰子先生

福祉情報科 看護科
今田 純江先生
中川 裕美先生
村上 文子先生
(旭川児童院へ)
豊福 恵子先生
旭川児童院へ

▼新任の先生
学院長 竹本 博明先生
介護福祉科 (八月三十一日)
入試事務室

福祉情報科 看護科
伊丹 貞子先生
橋本 勇人先生
池田 久美先生
飛田 明日香先生
谷口 佳代先生
塩見 和子先生
坂本 康子先生

入試事務室
入試事務室

学院だより

入試情報

入学試験期日の決定(全学科同一日)

推薦入試 十一月十日(日)

一般一次入試 一月二十六日(日)

一般二次入試 三月二日(日)

○試験場は、すべて本学院です。

(推薦のみ那覇市でも実施)

○願書受付は、試験日の約一ヵ月前からです。

○入試要項・願書は学院入試事務室宛、郵便為替(千円)同封の上請求のこと。

★卒業証書授与式(3月15日)
卒業予定者三〇〇余名の卒業を、多数のご来賓・ご家族の皆様を学院講堂に迎え、共に皆さんの前途を祝福する。

主な年間行事

★入学宣誓式(4月5日)
平成8年度の入学学生は、児童福祉科五〇名、介護福祉科一〇六名、福祉情報科二名、福祉研究科二名、第1看護科一〇四名、第2看護科五五名、総計三五七名。

★修学旅行(9月3日・9月6日)
各科の二年生と第2看護科一年生がクラスを離れて実施。デンマーク、上海、北海道、関東、京阪神、四国、沖縄の7方面へ希望別に参加し、行き先で社会福祉施設や病院の見学と交流を行います。

★キャンパスサービス(10月中旬)
児童福祉科、介護福祉科、福祉情報科、福祉研究科の各一年生が学院講堂に於いて、保護者・来賓臨席のもと、福祉の道へ進む決意を固める。

★就職式(10月中旬)
第1看護科、第2看護科の一年生が学院講堂に於いて、保護者・来賓

同窓会員数

平成8年3月現在 (平成8年3月卒業生)

同窓生総数	4,258名	(329名)
保育科・児童福祉科	974名	(49名)
福祉科・介護福祉科	434名	(94名)
福祉研究科	14名	(14名)
福祉情報科	124名	(33名)
第1看護科	1,293名	(96名)
看護科・第2看護科	1,419名	(53名)

同窓会名簿作成についてのお願い

平成八年度卒業生までの同窓会名簿作成にあたり、住所の分からない方の調査をす
めていきます。今の状態では、空欄の多い名簿を作成することになりますので、ぜひ、皆
様のご協力をいただき、より充実した名簿にしたいと思っております。
左記の方について、少しでもご存知の方がおられましたら、学院の同窓会事務局まで、
至急お知らせ下さい。
なお、ご自身の住所変更・転職（退職）・改姓の場合も必ずお知らせ下さい。よろ
ご協力をお願いいたします。

保育・児童福祉科

2期生(S49卒)	赤木 朱美(駒井)	永河 朱美(井上)	13期生(S60卒)	葛川 満美	18期生(H2卒)	渡邊恵里子
3期生(S50卒)	三谷 正恵	能瀬 祥子	14期生(S61卒)	藤本 明子	19期生(H3卒)	石原 信代
4期生(S51卒)	山本美代子(三浦)	赤松 美栄	20期生(H4卒)	田邊 郁恵	21期生(H5卒)	秀高 三恵
5期生(S52卒)	藤原千寿子	酒井きよの(安東)	21期生(H5卒)	村田 昌子	22期生(H6卒)	徳島 一恵
6期生(S53卒)	越智 清香	境 八重子(小川)	23期生(H7卒)	山本 榮里	24期生(H8卒)	田中 栄子
7期生(S54卒)	荒木 祐子(長谷川)	山下 馨	25期生(H9卒)	田中 照子	26期生(H10卒)	野間 百香
8期生(S55卒)	山崎 洋子(原田)	妹尾真奈緒	27期生(H11卒)	野間 百香	28期生(H12卒)	野間 百香
9期生(S56卒)	植本 光	馬場 敦子(福田)	29期生(H13卒)	野間 百香	30期生(H14卒)	野間 百香
10期生(S57卒)	国末 利子(藤越)	宮坂 美砂	31期生(H15卒)	野間 百香	32期生(H16卒)	野間 百香
11期生(S58卒)	大飼むつ子(宇佐良)	大塚かをり	33期生(H17卒)	野間 百香	34期生(H18卒)	野間 百香
12期生(S59卒)	高越 和代(中村)	是松 美樹	35期生(H19卒)	野間 百香	36期生(H20卒)	野間 百香
	長尾 京子(渡辺)	金丸 壽美	37期生(H21卒)	野間 百香	38期生(H22卒)	野間 百香
	吉本 直子(佐藤)	寺坂 知子(高橋)	39期生(H23卒)	野間 百香	40期生(H24卒)	野間 百香
	妹尾 直美(花房)	室井 京子	41期生(H25卒)	野間 百香	42期生(H26卒)	野間 百香
	服部 直美(河合)	杉本由紀子	43期生(H27卒)	野間 百香	44期生(H28卒)	野間 百香
	佐野 礼子(周藤)	平松早央里	45期生(H29卒)	野間 百香	46期生(H30卒)	野間 百香
	神崎 葵子	山下佳代子	47期生(H31卒)	野間 百香	48期生(H32卒)	野間 百香

福祉・介護福祉科

1期生(H2卒)	河崎 志麻	小藤 貴子	鹿谷 順子	大塚 利香	中山 陽子(岡崎)	奥田 礼子	山本登希子	佐藤 公枝	野吹 幸代	古田 明美
----------	-------	-------	-------	-------	-----------	-------	-------	-------	-------	-------

第一看護科

1期生(S56卒)	坂野 宇月	藤本 恭子(北堀)	平松 幸子(妹尾)	小倉 敦子(時光)	谷口 英子(菅原)	平川奈女美	高橋 節子(藤井)	2期生(S57卒)	安達 直美(安食)
-----------	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-------	-----------	-----------	-----------

旭川荘厚生専門学院
同窓会事務局

住 所 〒703 岡山市祇園地先
TEL (086) 275-0145
FAX (086) 275-3283

丹生 佳世	池田 貞子	池谷 幸子	岩田真紀子	大塚百合香	坂内 啓子	梅田 浩子(前田)	三島以津美	陣野 敏子(三村)	西條 裕子(安井)	5期生(S60卒)	柴田 嘉恵(赤澤)	井本 昌子(今井)	大橋 淳子	花重 和美(小田)	増田ひとみ(加藤)	川畑 豊美	妹尾 紀子(清瀬)	藤井 栄美(小平)	森本作知恵	結城 元子	小笠 幸子	3期生(S58卒)	福岡 寛子(小橋)	高橋 俊恵	佐々木ひとみ(高見)	富谷佐津紀	馬渡紀代美(中村)	森 啓子(古田)	下田 邦子(中山)	守安由美子	4期生(S59卒)	石井 玲子	江田 昭江(川上)	河田 生子	楠野真由美	苑田 文絵(鈴木)	柴田 直美(竹原)
富松 由美	ロバート美紀(中川)	松本モミエ(中嶋)	駒崎 卓代(西川)	山口 明美(羽原)	佐藤 真子(伴藤)	上田ひろみ(堀之内)	山田 裕子	平山 芳子	7期生(S62卒)	Aクラス	香取 貞子	岡山 秀子	上平 智子(高橋)	手塚 清美	西前住奈代	松崎 智子	松本 史恵	Bクラス	荒木 明子	松崎夕季子	村上 利花	山崎由美子	横田 美佳	8期生(S63卒)	Aクラス	村上 京子	若松くに子	藤井美沙子	Bクラス	清水美恵子	四ッ橋 恵	9期生(H1卒)	Aクラス	兼本はるみ	河合 夏美	福井かのこ	藤井 輝子
藤原 玲子	松江 五月	Bクラス	川崎 実貴	一村 知子	小川 晴美	津波古正美	北條 早苗	10期生(H2卒)	Aクラス	岩崎美恵子	片岡 玲子	田中 千景	東 理華子	貞森 香織(三宅)	山野 清美	Bクラス	足立 直子	井上 恵美	小池 直美	11期生(H3卒)	Aクラス	安部 真弓	今中 悦子	野方美智子	橋本 京子(丸山)	Bクラス	石岡 洋子	大塚 真弓	北村 里美	竹田津友紀	西嶋奈津美	松本美奈子	結城佳代子	12期生(H4卒)	Aクラス	益田 恭子	松島 直子

Bクラス 是永 加代 13期生 H 5 卒 Aクラス 石本 ゆい 小林加奈子	看護科・第二看護科 1期生 S 48 卒 池本佐知子 上垣 邦恵 関家あゆみ(黒田) 小松 美世 上田 良子(中島) 鶴岡 悦子(永福) 2期生 S 49 卒 井上 詔子(光田) 武田 玉子(大石) 木曾 恵子(奥田) 木村 栄 直原 泰子 清水 丸子 徳田よみ子 大川 路子(豊田) 鹿村ひとみ(福江) 米橋 陽子 3期生 S 50 卒 松尾喜代子(井口) 筒井 和子(大島) 大瀬 昌代 岡崎 智子 福島 広子 清水 洋子 藤原 幸子 道下 和子 榮 幸江(宮当) 田中 修子(森元)	横山佐代子 井坂 朱美 石川早栄美 石黒 末子 相生 栄子 岩倉とも子(大久保) 岡田多津子 加藤和賀子 重野 辰江 篠崎佐知子 宮永 峰子(下脇) 竹森加代子 島中伊津子 道下 文子 6期生 S 53 卒 戸田つゆ子(荒木) 大熊 玲子(岡本) 杉山よしえ 内藤 陽子(戸田) 日野 幸子 松崎 良子 松田 早苗 塩盛 孝代(山下) 多賀久美子(野口) 山本 昭美(井原) 大森 幹子 亀岡 愛子(河田) 岸田 昭子 木村 伸子 小宮 摩矢 磯本 利枝(酒井) 沢田 妙子(桜井) 鈴木 律子 西田 光子(高橋) 玉津 千鶴 永田 幸子 繁永 信枝(西村) 樋口とし子	本庄優美子 峯下 文子 宮本三喜子 7期生 S 54 卒 稲葉 文子 稲村 正子 井上 陽恵 岩崎 輝美 大山八千代(大西) 大林美智子 吉柳 節子 小林 京子 寺尾 直子(鈴木) 長尾久美子(土井) 原田 律子 村田千枝子(福) 佐野伊津美(三宅) 矢野 糸枝 一ノ瀬澄子 石田 郁子 木脇 嗣代 栗栖ともえ 小松 俊男 西木陽知恵子(新森) 末吉 敏美 辻村美代子 寺田萬里子 奥野恵美子(中原) 中里 初子 林 艶子 藤 久美代 渡辺 和代(藤田) 森崎 良子(山口) 山本奈津恵 渡辺 松乃 8期生 S 55 卒 有馬 順子 佐藤ちかえ(岩崎)	松原 潔子(景山) 日高 五子 武田 鈴子(藤井) 鶴野 直子(横田) 9期生 S 56 卒 桑原真由美(指宿) 田中 康子(岩切) 丸橋 民子(佐伯) 竹下真寿美 石井 重子(飛騨) 林 宏子 佐川 清子(藤井) 安岡久美子(三加茂) 小原 栄子(物部) 森木ひとみ(森本) 耕田千代美(守山) 大村 佳子(山本) 古野ひとみ 山下 倫弘 10期生 S 57 卒 荒木非佐子 藤井 朱実(井本) 岩崎 桂子 宇都宮直美 小山 聖美(近江) 谷泉美代子(小林) 酒見 弥生 實久ひとみ 守屋 京子(竹内) 峠 美月 竹本佐登美(中田) 井上 清美(濱中) 林 由香子 松本加奈江 桂 久子(宮本) 一色 浩美(山川) 西村 浩子	11期生 S 58 卒 池田 久代 柏原 三枝 松本 美紀 前田 貴子(森田) 熊原 陸子(高梨) 12期生 S 59 卒 天野 敬子 大田 道代(井上) 坂本 文代(岩永) 亀屋 幸江 椎谷ひろ子 長沢 仁美 永見 和子 大田黒陽子(藤井) 藤原小百合(藤原) 井上 夏子(村田) 坂井 明子(藤井) 13期生 S 60 卒 泉 玉恵 河合 幸枝 高橋 良美 中村まり子 佐藤由美香(中村) 野島 美穂 藤田 節子 藤原 美香 深田 宏美(船曳) 三宅 悦子(守屋) 14期生 S 61 卒 岩永優美子 岡田 真弓 甲木 玲子 中嶋ゆかり 西山さち子 藤川 園美 佐藤美和子(前田) 光畑さゆり	村岡 敬子 森井早智子 和田 静子 15期生 S 62 卒 今村 昌子 清水ケイ子 長瀬 幸子 古田 清美 上村 道子(宮川) 山本 京子 飯田 裕子 城川 幸江 六岡 弘美 16期生 S 63 卒 尾崎 洋子 掛本 展永 中川 悦子 樋口 真弓 藤澤 裕子 古村 裕子 17期生 H 1 卒 阿部 明子 内田 敬子 横 佳代 海田 満子 小分坂礼子 塩出丹帆子 西崎 清美 18期生 H 2 卒 横山亜依子 奥田 清美 小原 牧子 金子 由里 黒瀬多規子 品川 律子 竹内 直美 三澤美知恵 柳原知津江	山内 里美 19期生 H 3 卒 池之上真由美 大月 道子 光本 美香(大西) 小倉美奈子 恩田小枝子 岸田亜矢子 中島紀美恵 原田 抄織 藤原 裕華 前田恵利子 吉村 雅美 20期生 H 4 卒 今村 広美 幸田多津美 小松 香織 延本 尚美 嶺得 友子 22期生 H 6 卒 佐藤有佳里 更谷 純子
--	--	---	--	---	--	--	---

岡山支部総会報告

岡山支部 幹事 石原啓子

平成8年2月17日11時より、中華料理の上海で、第4回岡山支部総会が開催されました。当日は、生憎の雪が朝から降り積り、交通事情も悪く、遠方からの参加者も大変な思いをして頂いたのですが、62名の会員さんに御出席して頂き、心強い思いをいたしました。

総会では各報告が可決され、次回支部総会に向けての取組として、会員さんの参加をどの様にして促していくかが問題として残りました。総会後の懇親会では、カラオケ、ゲーム等を楽しみ2時過ぎに終了しました。

支部では、会員の方々の情報を待っています。近況をお寄せ下さい。

広島支部会開催のお知らせ

広島支部長 松田 憲 尚

一昨秋、恩師箱山先生を囲んでの宿泊同窓会を人里離れた静かな山あいのペンションを貸し切り、開きました。夜道を迷いながらも参加して下さいった心優しい方々、お元気で活躍されていますか。来春に同じ宿のしだれ桜の下で、今度こそお会いしましょう。都会で暮らされている同窓生の方も里帰りを兼ねて、毎年多忙で花見どころではない方も花見遊山を兼ねて、ぜひご参加ください。

次回は参加しますと言って下さったあなた、お待ちしております。甲山ふれあいの里に集まりましょう。

場 所 甲山ふれあいの里 連絡先 〒720-24 福山市加茂町芦原 434
日 H9年4月19日(土) 自 宅 TEL 0849-72-4139

勤務先 TEL 0849-31-1111
(第2看護科・12期生) 松田 憲 尚

関西支部会開催のお知らせ

関西支部長 小西 敬子

同窓生の皆様お元気で、職場で御家庭でご活躍の事と思います。

来年は大阪支部会同窓会の年です。昨年は阪神大震災で中止となり、4年目の同窓会です。多数の参加で有意義な会にしたいと思います。

場 所 ホテル コンソルト 連絡先 〒572 大阪府寝屋川市
日 H9年5月25日(日) 東大田町22-1

自 宅 TEL 0720-27-2915

阪神大震災に遭って

看護科一期生

(旧秋山) 大下 光子

神戸市兵庫区

私は震災前日、夜遅く帰神しました。十七日早朝はよく眠っていました。左に動いたかのような激しい揺れで目が覚め、上半身を起こしたように思います。右側三段ベッドが倒れてきて、引き戸が開かない

まま暗闇の中で揺さぶられました。大きなダダダ……の音と共に、引き戸が倒れ、ダンス・冷蔵庫等あらゆる物が倒れたり壊れたりする音の中、やっとの思いで外へ出ると火事でしたので、近所の人と共に公園に避難

しました。震災は底知れぬ恐怖でありましたが、避難所の生活では、人の心の温かさを実感しました。二日目の救援物資でいただいた「おにぎり」は、お米がまるで宝石の様に見え、大変おいしかったです。天災はどうしても起こるものです。その時、人はなすすべもなく、ちっぽけで吹けば飛ばすようなものであることを思い知らされました。しかし、この震災により、一人では何もできないけれど、人と人との輪により、大きな事も出来ることになりました。これから来るものが分かりました。これから生きていきたいと思っています。

同窓会総会

日 平成八年九月十四日(土曜日)
時間 10時～12時
場 所 旭川厚生専門学院
合3教室(2号館3階)

会員皆様の御出席をお待ちしております。
お問い合わせ
学院同窓会事務局 ☎〇八六(二七五)〇一四五
難波まで

同窓生からの

おたより

児童福祉科

児童福祉科 在本 雅恵(岡山市
二十一期生 正義)

早いもので、学院を卒業して三年余りになりますが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

私は保育園に勤めさせて頂き、今年で早四年目になりました。この仕事をさせて頂き、つくづく幸せだなと感じています。それは、子供達の一番可愛い時を見させてもらっているからです。子供達はすぐ成長していきますが、その成長の瞬間に立ち合えた時の喜びは何とも言えません。でも、その瞬間を一番見てもらいた

いお母さんに見て頂けない事がとても残念です。その為にも園では良い母親代わりになれたらと思っております。でも、なかなか母親代わりにはなれないのですが……。先日子供に、「おねえお母さん……」と間違っ

て呼ばれた事がありました。その時、どんなに愛情を注いでも勝てない母親に、一歩でも近付けたかと思うと嬉しくてつい子供を抱きしめてしまいました。

こんな私を頼りにしてくれる子供達、信頼して下さるお母さん方、いつも支えて下さっている仕事仲間の先生方、そして困った時、嫌な顔一つせず相談のつて下さる学院の先生方には感謝の気持ちで一杯です。又明日からこの気持ちを大切にして頑張っていきたいと思っています。

児童福祉科 畦崎 清美 (上房郡
二十一期生 北房町)

保育者になってから、四月の歳月が流れようとしています。先頃保母から多くのことを教わり吸収できるように、また私なりに学んでいたことを無駄にしないように、日々懸命に過ごしています。

「子ども」って本当に素晴らしいですね。毎日が驚きと感動の連続です。一年目は、何だかんだと「か」でも、そこで諦めず、挫けないで良かったなと実感しています。

子どもに助けられればなしの私ですが、今はとっても幸せです。保育ニーズの多様化に伴い現場で働く労働条件も厳しくなりつつありますが、自分の持てる力を最大限に発揮し、もともとと広い視野から考えたり、見つめたりすることができたら...と思っています。初心を忘れず、保育のプロとして、自覚をしっかりと持って頑張っていきたいですね。

最後になりましたが、学院の益々のご発展と、先生方、同期生のご多幸を心からお祈りしています。またお会いできる日を楽しみにしています。

介護福祉科

介護福祉科 金島 美紀 (岡山市
四期生 浜)

私は現在、精神障害者更生施設に勤めています。老人、障害者の介護をしたくて、介護福祉士となった私には、生活指導、援助を行うことは私のしたい事とは違ふと感じました。その頃の私は「身体、精神面の介護がしたいんだ」と今思えば恥ずかしいかなる様な思いを募らせていました。

しかし、何処で何をしようとも、何かを試み向上させようとする福祉、奉仕の信念は変わらない、と気付きました。そして、相手の立場から物事を判断し、今の信条、何を求めているか、何が必要かを見極め、又、利用者にとって心の寄り所となる存在となる事が重要な役割と考えています。

今では、学院で学んだことを応用し、あまり詳しく学べなかった知的障害者への援助、又、人と人との関わりからこそ学び得られる事の多さに感謝しています。これからも、仕事をしながら様々な壁に突き当たるとありますが、一つ一つ解決することが自己の成長につながると思えています。皆様もお体に気をつけて頑張って下さい。

福祉研究科

児童福祉科 一期生 坪本 登子 (和気郡
一期生 日生町)

保育科一期生として卒業後、早二十数年、園長として頑張っている人、看護の道へと方向転換した人、それぞれに活躍されています。

という私は昨年福祉研究科一期生として再び学院で学ぶ機会を得ました。一期生という節目に二度も出会ったことは感慨深いものがあります。四十半ばにして娘のような人達と机を並べたわけですがとても心地よく学べました。実習先では多くの同窓生の活躍ぶりを拝見し、有能な人材を育成されている学院の存在意義の大きいことを感じました。現在、念願であった身体障害者デイサービスの仕事をしています。地域との関わり、ニーズの多様化、高齢化への対

応、職員の資質も問われる中で目の前のことをこなすのが一杯の毎日ですが、年輪に添った持ち味が出る援助を心掛けています。多くの人達との出会いの中で学ぶことの多い日々感謝しながら働いています。では、皆さんの益々のご活躍をお祈りし、近況報告とさせていただきます。

福祉情報科

福祉情報科 瀬野 悦代 (岡山市
三期生 平野)

お世話になった先生方、同期生の皆様いかがお過ごしでしょうか。学院を卒業し、それぞれの道へ進み早三年目となります。

振り返ってみると高校時代、将来の目標を見つけていくことができませんでした。熱心な先生方、気のおけない仲間に出会い、ほのぼのとした雰囲気の中で情報・医療・福祉などの様々な分野について学び、実習を経験しました。そして自分の進む道を見つけていくことができました。私にとっては大変貴重な二年間でした。

現在、精神障害者更生施設「愛育寮」で利用者の年金、小遣い管理や現場での利用者の援助を行っています。利用者との楽しい生活の中にも責任の重さ、援助の難しさを感じ、先輩や利用者の方から学ぶことが数多くあります。もっと利用者として深く関わり、信頼関係を築き、よりよい援助を行っていかれたらと思います。最後に同窓会でお会い出来ることを楽しみにし、皆様のご活躍をお祈りしております。

第一看護科

第一看護科 内田 純子 (旧姓 奥田)
十三期生

第一看護科十三期生の皆様、お久しぶりです。お元気ですか。早いもので学院を卒業してから4年になります。私は、今年の三月に結婚し、仕事と家庭の両立に悪戦苦闘しているところですが、現在も、川崎医大で働いています。学院の学習生を見つらるたびに、学生時代のことを思い出します。

今後も看護科を続けて行こうと思いましたが、出産・育児等、続ける上で困難なことがたくさんあると思いますが、出来る限り頑張りたいと思っています。今、皆様もそれぞれの人生を歩まれていると思いますが、悔いの残らないようお互いに頑張っていきましょう。いつの日か、皆様とお会いできる日を楽しみに待っています。

第二看護科

第二看護科 (旧姓 奥田)
八木 由香
二十一期生 松田真由美 (旧姓 吉賀)

二十一期生の皆さん、先生方お元気ですか。確かあれは四年前、パルセロナで有森選手が銀メダルの受賞に輝いた頃、私たちは、実習に明け暮れながら、有森選手の活躍に力付けられたものでした。そして、今年もアトランタでの活躍を応援しながら、それぞれの現場で頑張っています。

ることでしょう。児童院での勤務も四年目になりましたが、いつまで経っても入所者の人に助けられながら仕事をしている毎日です。「天使のたまご」にでてくるオアシスちゃんを覚えていませんか。わが児童院うめ病棟には、わたしたちを勇気づけて励ましてくれるオアシスさんが、たくさんいます。入所者の方々に何かをしてあげるといっても、いつも学ばせてもらってばかりです。せめて「ちよっ」と呼んで」と言う言葉を少なくする事を今の目標にし、一人一人に目を向けられるようにしていきたいと思っています。入所者の方々も今年から県立養護学校の高等部への道が開け十名が学生生活を送っています。私たちが負けられないように頑張りたいと思っています。昨年はクラス会に大勢集まってくださり有り難うございました。結婚の話やおめでたの話に花が咲いたものです。その時に集めた阪神大震災義援金は、日赤に送らせて頂きました。この場を借りて報告させていただきます。近いうちに又皆の顔が見れることを楽しみにしています。お近くに来た時には是非、学院と児童院に立ち寄って下さい。

編集後記

暑さ厳しき折、皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。学院では、老朽化していた設備の工事も終わり、学生もよりよい環境の中で、勉学に励んでいます。ぜひ一度学院に足をお運びください。では、九月の同窓会総会で皆様とお会いできることを楽しみにしています。(同窓会役員記)